

「先進地域との交流による企業間連携促進」

【事業目的】

本事業は、経済が低迷しグローバル化が急速に進展する状況の中で企業が生き残るためにはどうすれば良いのか、その一つの方策として企業間連携を促進させるために相互の交流を深化させ、ネットワーク構築を目指して実施した。

米沢地域・会津地域の交流は、昨年に引き続き2回目の開催となる。1回目は会津地域で実施し、米沢ビジネスネットワークオフィス及び会津産業ネットワークフォーラム(ANF)の取組み紹介、両地域企業プレゼン、工場見学等の交流を行い、設立間もないANFが企業間連携の先進地域である米沢地域から連携の基本を学ぶと共に、両地域の企業が知り合う場とした。2回目となる今回は、事業を2段階に分け、第1段階で連携の必要性・重要性等についてセミナーで学び、認識を深め意識高揚を図った後に、第2段階で米沢地域との交流を深化させて連携を促進することを目的とした。また、同時に地域外企業とのビジネスマッチングの機会とするこも狙いのひとつとして実施した。

【事業実施状況、成果】

●米沢地域・会津地域ものづくり交流事業プレセミナー開催

日時：平成22年9月30日(木) 16:00~18:20

会場：会津若松ワシントンホテル

参加：39名(企業15社23名、関連団体・行政・事務局16名)

講師：山形大学国際事業化研究センター 教授 柴田孝

山形大学大学院理工学研究科

ものづくり技術経営学専攻 専攻長 教授 松田修

演題：「ものづくりにおけるこれからの視点」



●米沢地域・会津地域ものづくり交流会開催

日時：平成22年10月28日(木)~29日(金)

会場：山形大学工学部100周年記念会館、米沢市内企業

参加：会津地域 企業6社8名、行政・事務局7名 計15名

米沢地域 企業14社、山形大学2名、関係機関・行政・事務局11名 計27名

- (1) 企業プレゼン 会津地域3社、米沢地域2社が会社概要・技術・独自性等を紹介
会津地域：丸隆工業(株)、(有)塚原製作所、荒川産業(株)
米沢地域：(株)相田商会、(株)丸定

- (2) 講演

「地域連携でマザー会社の設立を」柴田教授、「ものづくりにおけるこれからの視点」松田教授

- (3) グループディスカッション テーマ「10年後の企業経営の在り方」

●会津産業ネットワークフォーラム会員紹介冊子「会津ものづくり企業ガイドブック2010」の作成

●事業成果

- ①地域間および企業間の相互理解・交流が深化した。
- ②今後の連携につながるネットワークが構築された。
- ③企業を取り巻く現状を認識し、これからの経営について考える契機となった。
- ④今後のビジネスマッチングにつながる事が期待できる。

【今後予想される事業効果】

企業プレゼンを自社の持つ強み、特に得意技術や独自の取組みに焦点を宛てて紹介、PRしたことにより、地域内及び地域を超えたビジネスマッチングにつながっていくことが期待できる。

また、本事業により相互理解を深め、事業終了後に米沢・会津地域企業間でメールのやりとりなど連絡を取り合うケースも出てきている。具体的なビジネス案件には至ってないが、今後の可能性が見込める。

さらに、本事業に合わせ、会津ものづくり企業ガイドブックを作成・配布したことにより、今回交流会には参加できなかった会津地域の企業についても紹介することができた。今後のビジネスマッチングにつながる事が期待できる。